

がん患者さんは心臓にもご用心!!

がん治療が原因で起こる心臓機能の低下 → **がん治療関連心機能障害**

- がん治療薬の中には、心臓に毒性をもつものがあります。
- 代表的な薬剤は**アントラサイクリン系薬剤**
(白血病 リンパ腫、乳癌、肉腫で使用)
- アントラサイクリン系薬剤の毒性は
生涯にわたって心臓に残ります。
- **数年～数十年たってから心臓の機能が弱くなる人がいます。**
- 心臓の機能が弱まると**心不全**の状態になります。



心臓機能の低下、心不全が起こっても…

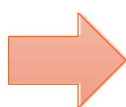
早期発見し、心臓の治療を早く開始することが大切!!

早く治療を開始すれば、心臓の機能が更に弱くなるのを防ぐことができます。

→ **がん治療の継続が可能に!**

心不全の主な症状

- ・息切れ
- ・体重増加
- ・足のむくみ



**早めに主治医 / かかりつけ医に
相談しましょう!!**

心臓機能の低下や心不全は
心電図や胸部 X 線検査だけではわかりません。
心臓超音波 (心エコー) 検査が有用です。

★日常生活で以下の点に気を付けましょう★

- ① 毎日体重を測定しましょう。週に 2～3kg 増える場合は早めに受診を!
- ② 高血圧や糖尿病の治療を継続しましょう。
- ③ 塩分のとりすぎに注意しましょう。
- ④ 禁煙しましょう。
- ⑤ 感染対策を徹底しましょう。風邪や感染症は心不全を悪くする要因です。
- ⑥ 適度な運動を取り入れ、筋力や体力の低下を予防しましょう。

QR コードから、説明動画を視聴できます。
是非ご覧ください。

